

神奈川山梨教会連合会たより

か り ん

神奈川山梨布教百三十年の願い

金光教神奈川山梨教会連合会

会長 山田信二



皆様には、日ごろから連合会活動の上にご参加ご協力いただきありがとうございますこと、厚くお礼を申し上げます。

元氣な心で各教会の御用、信奉者それぞれのご信心が進められていることは、たいへんありがたいことと思えます。

さて、今年、神奈川山梨布教百三十年を迎えました。これは、初代横浜教会長・福田助次郎師が横浜に布教に出たことをもつて、神奈川山梨地域の布教ははじめとして、今年が百三十年になるということです。そして、当連合会では、ふさわしい記念事業に取り組んでまいります。皆様のご参加ご

協力をお願い申し上げます。

百三十年の記念の年にあたって、その願いについて、新年から奉唱している「神奈川山梨布教祈願詞」の内容を味わいながら申し上げてみたいと思えます。この祈願詞は、百年の節年から、十年ごとに文言を改訂しながら今日に至っています。その意味では連合会の先輩の方たちの思いが引き継がれてきているものです。

この祈願詞には、節年に当たっての信心のポイントが三点願われていると思えます。一つは、教祖様と先人の願いを受け継いでいくということです。教祖様は「万国まで残りなく金光大神でき」ということ、つまり世界中に信心を伝える人が生まれてくることを願われて、御用に当たられました。そしてその願いを受けて先人たちは、神奈川県にも山梨県にも信心を伝えてくださったわけですね。それは最初の人たちだけではありません。百三十年間、今日まで多くの先生方や信徒の方々がかわつてくださつての今日です。その布教のご苦労と、信心の喜びを振り返りながら、受け継いでいきたいと思えます。

二つ目には私たちが気を引き締めて信心を求めていくということです。祈願詞の文言で言えば「難儀増し行く今の時代に 神人あいよかけよの生活を 願い新たに求め

行き」というところです。今の世の中、コロナ禍ということに限らず、様々な形の難儀が増えていきます。そのような難儀に流されないよう、改まって信心を求め、神様と二人三脚で生きる喜びの生活を進めていくことに、力を入れていきたいと思えます。

三つ目には、この信心の助かりを広く伝えていくことです。そのためには、まずは私たちが喜びの信心生活を送り、信心の喜びをかみしめることです。そしてさらに一歩進んで、その喜びを語り、難儀をしている人を助け、神様のご比礼を輝かしていきましょう。そして、そのことは「自他（われひと）ともに助かる」という言葉にあるように、自分の助かりにもなっていくわけです。

この三つのことを連合会の活動の上に、そして一人一人の信心生活の上にも実現していきたいと思えます。

どうぞよろしくお願いいたします。



2022年度

神奈川山梨教会連合会総会報告

本年度の連合会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年同様1月24日に書面表決の締め切り、集計、そして、1月29日(土)13時30分より、ZOOMを使って表決結果報告及び意見交換会と、書面表決とリモート会議を併用して行われました。

書面表決では、各教会を代表する教師16名、信徒19名の合計35名の方々全員からの返信を受けて集計の結果、2021年度事業報告案、決算案、2022年度事業計画案、予算案ともに全員の賛成をいただき、承認されました。

29日の表決結果報告及び意見交換会では、教師9名、信徒9名がリモート会議へご参加くださり、活発な意見交換となりました。

開会の御祈念の後に、山田信二会長(横浜西教会)より、本年迎える神奈川山梨布教130年の節年にあたって「神奈川山梨布教祈願詞」を奉唱して感じた3つのポイント(①教祖様と先人の願いを受け継いでいく②気を引き締めて信心を求めていく③信心を広く伝えていく 巻頭言参照)を挙げて、本年の活動に込めた思いが話されま

した。

次に、村田総務部長より冒頭に記した通り、表決結果として、全ての議題が承認されたことが報告され、配布資料確認の後、昨年度の活動報告、決算報告がなされました。

続いて本年度の活動計画では、まず全体を山田会長から、教師部について安達部長から、信徒部について山口部長からそれぞれ説明され、他各プロジェクトより説明が加えられました。その後、予算についての説明がなされ、意見交換会へと移りました。

意見交換会では、年頭より奉唱されている「神奈川山梨布教祈願詞」のリモートでの奉唱の仕方の確認や、コロナ禍のリモートでの活動への評価、また、それぞれの手元で問題になっていることの情報交換など、様々な意見、質問が交わされました。

その後、山口信徒部長より挨拶がなされ、130年の記念事業への参画が改めて呼びかけられ、ご祈念の後、2022年度総会の幕が下ろされました。

以下、事業報告と事業計画について掲載します。本年も、諸事業の上にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年度事業報告(抜粋)

▼教師信徒研修会

6月5日(土) ZOOMリモート開催
参加者34名(14教会)

「縦横有神―信心の喜びを語ろう―」
講師…浅野善雄師(本中野教会)

▼輔教懇談会

1回開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止した。

▼ホームページ

連合会各行事報告と『かりん』各号、教会掲示板の写真を掲載した。

▼社会活動

○使用済み切手・プリペイドカード…藤沢教会 少年少女会連合本部よりキリスト教団体へ、途上国への医療支援

○ボトルキャップ…神奈川教会 幸ヶ谷小学校へ委託、途上国への医療支援

○プルトップ…平塚教会 前橋教会へ委託、前橋市社協で回収後換金

▼みんなのつどい

こども自然公園散策を予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止した。

▼地域交流会

JAXA見学を予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止した。

▼女性のつどい

6月20日(日) 丸子教会

参加者28名

テーマ:「私にとっての教会とは」

発表:藤澤昌子氏・渡辺宣子氏

(いずれも丸子教会)

▼講話と夕食の会

12月4日(土) ZOOMリモート開催

参加者35名

テーマ:「最近の異常気象について」

講師:入田央氏(中野教会)

2022年度事業計画(抜粋)

1. 総会

○書面表決締切日 1月24日(月)

議決事項:2021年度事業報告・決算、2022年度事業計画・予算

○表決結果報告および意見交換会

1月29日(土) 13時半〜15時半

ZOOMによるリモート開催

2. 運営委員会

年5回開催

3. 教会連合会長選挙

10月14日(金) 14時から開票

投票会場:横浜西教会

4. 神奈川山梨布教130年事業

①神奈川山梨布教祈願詞の奉唱

②ご霊地集会の開催

10月1日(土) 14時半〜16時半

会場:修徳殿を予定

ご祈念と講話 講師:金光英子師

10月2日(日) 12時半〜14時半

ご霊地ツアー

③記念冊子の刊行準備(23年度に刊行)

連合会内教会紹介、節年事業報告

5. 教師信徒研修会

3月16日(水) 13時半〜16時

ZOOMによるリモート開催

テーマ:横浜布教の歴史に学ぶ

講師:①安達幸則師(相模原教会)、②南清孝師(登戸教会)、③山田信二師(横浜西教会)、④村田光治師(子安教会)

6. 輔教懇談会

9月3日(土) 13時〜16時

かながわ県民センター

7. ホームページ

連合会活動の周知、広報を行う

URL=<http://www.kyokairengokai.jp>

8. 連合会だより

『かりん』の発行 年4回

9. 社会活動

各種収集活動の実践

○切手・プリペイドカード:藤沢教会

○ボトルキャップ:神奈川教会

○プルトップ:平塚教会

10. みんなのつどい

9月11日(日)

横浜みなとみらい散策

11. 教師部

①教師会の開催:4回開催:2/14、

6/16、8/16、12/14

②定期教話の実施:3月〜11月実施

③ ひいらぎの会の開催:2回開催予定

④ 青壮年教師懇談会の開催:3回開催

12. 信徒部

① 地域交流会:3/27(日) 横浜教会

史跡巡りと福田助次郎師奥城参拝

② 女性のつどい:日程未定 武蔵小杉

教会

テーマ「信心の継承」

発表:井上黎氏(横浜西教会)、藤澤

翔氏(丸子教会)、小橋華世氏(武蔵小杉教会)

③ 講話と夕食の会:12月3日(土) 県

民センターを予定、時間未定

「おかげは和賀心にあり」鑑賞、懇談

④ 委員会の開催:随時開催

13. その他

当教会連合会を包含する団体の活動への参画など

① 山梨県下の教会による活動

② 首都圏フォーラム活動

フォーラム活動への協力とフォーラム会議への出席

③ 関東教区信徒会活動

関東教区信徒会活動への参加

④ 神奈川県宗教連盟活動

宗教文化講座、戦没者慰霊祭など

⑤ 全国信徒会第4回全国大会 in 首都圏:7/10日暮里サニーホール



2022 (令和4) 年度

天地金乃神大祭日程

教会名	日 程
甲府教会	4月17日(日) 13時30分
南甲府教会	4月18日(月) 11時
小田原教会	4月24日(日) 14時
登戸教会	4月24日(日) 13時
横浜西教会	4月24日(日) 13時30分
藤沢教会	4月29日(祝) 11時
大明教会	4月29日(祝) 13時30分
子安教会	5月1日(日) 13時30分
横須賀教会	5月3日(祝) 13時30分
丸子教会	5月3日(祝) 11時
相模原教会	5月3日(祝) 14時
生麦教会	5月5日(祝) 13時
平塚教会	5月8日(日) 13時
鶴見教会	5月11日(水) 13時
大磯教会	5月14日(土) 13時
野毛教会	5月21日(土) 13時30分
武蔵小杉教会	5月22日(日) 11時
神奈川教会	5月29日(日) 11時30分

講話と夕食の会が開かれました

昨年12月4日、「講話と夕食の会」がリモートで行われました。参加者は35名でした。講師の入田央さん（元気象庁予報官・中野教会）は、多くの資料を交えて、「最近の異常気象について」をテーマに話を進められました。

昨今の集中豪雨については、神奈川、山梨両県の数か所の風雨の記録の変遷を見ながら、県全体ではなく、相模湖、箱根で雨量が集中することが示され、「自然現象」の力が地形や河川などの自然素因の弱さに作用すると「災害」となり、さらに「災害」が地勢、家屋、人間などの社会素因の弱さに作用すると「被害」となることから、必ずしも自然現象＝災害ではなく、災害＝被害ではないと解説されました。

そして、学校であれば勉強、家庭であれば詐欺とか税への理解、そして信心では、神様やおかげへの理解を深め、稽古して信心の向上を求めるように、自然現象への理解を深め、同時に「被害を軽減する防災力」の向上に普段から努めていくことが重要であるとされました。

最後に、学習途中としながら、災害は「め

ったに起きないもの」ではなく、「自分だけは大丈夫」でもない、「頻繁に発生して、その度に命を脅かすもの」という「わがこと意識」を持つて備えることに触れられ、参加者の防災、減災への意識を促されました。

〓お知らせ〓

〇ご霊地集会のご案内

本部生神金光大神大祭第一日の参拝に併せて、ご霊地での集会を以下のようにご予定しておりますのでお知らせいたします。

- ① 10月1日(土) 14時半～16時半
金光英子先生から「二代金光様の信心」についてお話を伺います
修徳殿(予定)
- ② 10月2日(日) 12時半～14時半
ご霊地の聖跡などを巡ります

ポスターなどを教会へお送りしますので、ご参照ください。皆様のご参加をお待ちしております。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 山田 信 一

〒245-0017 横浜市泉区下飯田町926・23
金光教横浜西教会内